

PED対策の再徹底をお願いします

★今年に入ってから、茨城、千葉、栃木、宮崎など関東地方や九州地方で新たな豚流行性下痢（PED）の発生が見られています。県内での発生はありませんが、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と、ウイルスの侵入防止に努めてください。

豚流行性下痢(PED)の発生状況 平成29年シーズン(H29.9.1-H30.8.31)

平成30年3月1日現在

発生都道府県	初発事例確認日	累計発生農場数	発生農場数		非発生農場割合	累計発症頭数	累計死亡頭数	頭数の最終確認日
			発生農場数	非発生農場数				
茨城県	平成29年11月13日	10	9	1	10%	3,707	68	平成30年02月15日
栃木県	平成30年01月30日	2	2	0	0%	1,969	143	平成30年02月28日
群馬県	平成29年12月13日	1	1	0	0%	360	287	平成29年12月31日
千葉県	平成29年11月17日	6	6	0	0%	429	34	平成30年02月26日
愛知県	平成29年09月27日	1	1	0	0%	2	0	平成29年09月27日
熊本県	平成29年12月30日	1	1	0	0%	619	5	平成30年01月15日
宮崎県	平成29年12月30日	3	3	0	0%	124	0	平成30年02月07日
7 県		24	23	1	4%	7,210	537	

★早期通報のお願い★

特に！

次に示すような症状が出た場合、
すぐに家畜保健衛生所へ連絡して下さい。



症状①

複数の繁殖豚が分娩した
哺乳豚のうち、半数以上が
水様性下痢・嘔吐・死亡
した場合

症状②

哺乳豚 1 頭以上が水様性
下痢・嘔吐・死亡し、
半日以内に他の哺乳豚に
同一症状が拡大した場合

症状③

複数の繁殖豚・肥育豚が、
食欲不振・下痢（軟便～水
様性）・嘔吐を呈した場合

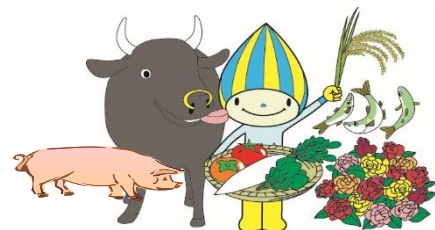
中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸 1-1

TEL: 058-201-0530 FAX: 058-201-0531

(平日時間外・休日の緊急連絡先: 090-7024-5269)

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp



農場へのウイルス侵入を防ぐために・・・

飼養衛生管理の徹底

PEDの発生予防、伝播防止のためには、各農家における対策が極めて重要です。特に、



消毒の徹底

・車両、畜舎の消毒を徹底する。

※下に消毒方法例示有り

野生動物対策

・農場柵の設置、豚舎等の修繕などを行う。
・ねずみ、害虫等の駆除を実施する。

ワクチンの活用

・ワクチンの適切な使用によって、ウイルスが侵入した場合における被害を低減させる。

人、車両の出入り

・人、車両の出入りを記録し、保存する。
・関係者以外を畜舎にみだりに立ち入らせないようにする。

を重点的にチェックしましょう。

★消毒のポイント★

車両

- ・運転席のマット消毒
- ・ハンドル、ペダルの消毒
- ・荷台の消毒 も忘れずに

踏込消毒槽

- ・汚れを落としてから入る
- ・消毒薬は定期的に交換する
- ・ブーツカバーの使用も可
- ・農場入口に消石灰帯を設ける

手指の消毒

- ・石鹼、アルコールスプレーなどを用い、手指の洗浄、消毒を行う
- ・使い捨て手袋の使用も可



消毒用噴霧器



踏み込み消毒槽



ブーツカバー

消毒薬 * 土や糞などの付着混入、低温により効果が低下します。

- ・車両には逆性石鹼、アルデヒドを高濃度で使用
- ・踏込消毒槽はオルソ剤や「1%消石灰+逆性石鹼500倍」が即効性と効果持続が良い